

豊中市告示第329号

豊中市病院事業業務状況の公表

豊中市病院事業の設置等に関する条例（昭和41年豊中市条例第47号）第9条の規定による平成29年10月1日から平成30年3月31日までの業務状況を、次のとおり地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき公表します。

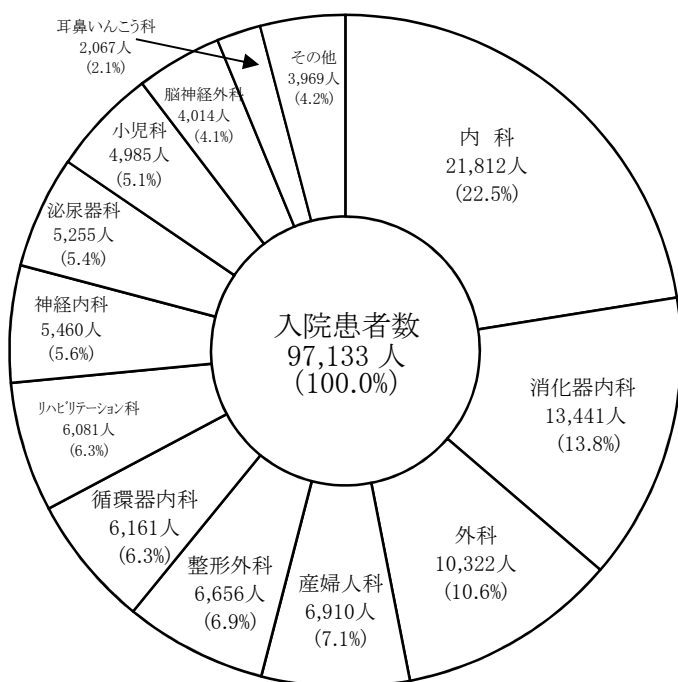
平成30年6月1日

豊中市長 長内 繁 樹

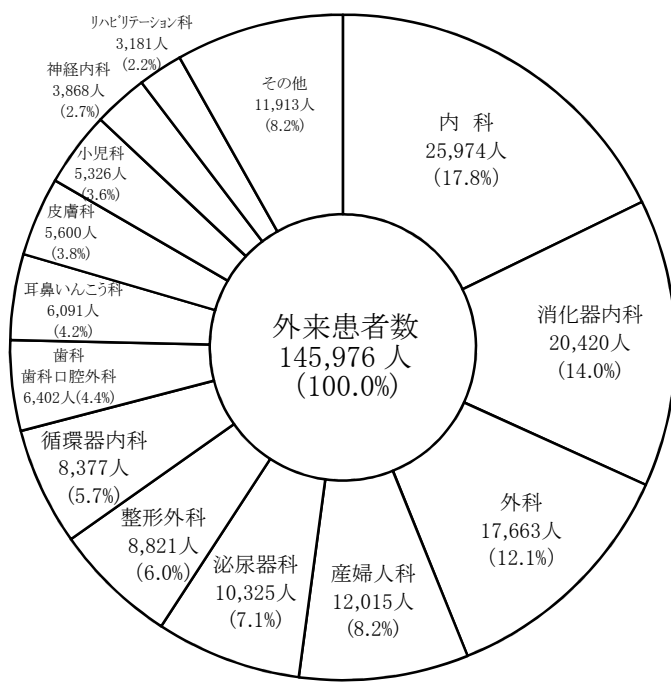
平成30年（2018年）3月31日現在

病床数	613床
一般病床	599床
感染症病床	14床
（29.10.1～30.3.31）	
患者数	243,109人
入院患者数	97,133人（一日平均 534人）
外来患者数	145,976人（一日平均 1,216人）

科別入院患者数



科別外来患者数



診療業務件数

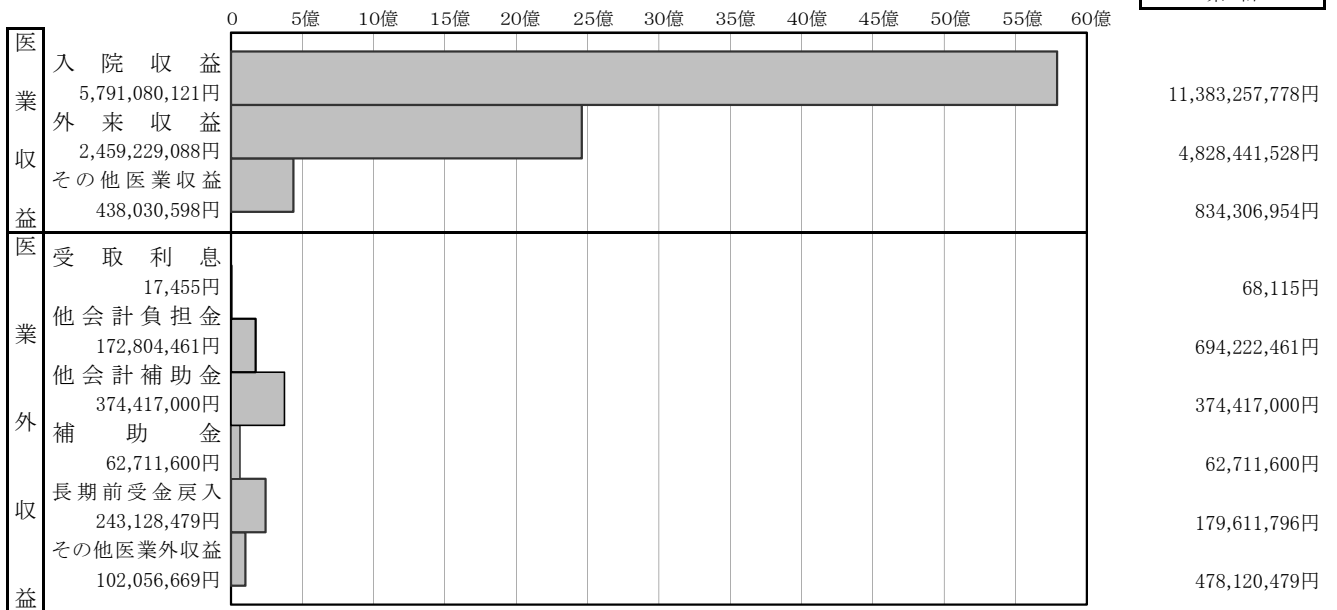
レントゲン業務	69,669件
検査業務	1,785,849件
手術業務	2,686件
分娩業務	416件

平成29年度(2017年度)下半期予算の執行状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

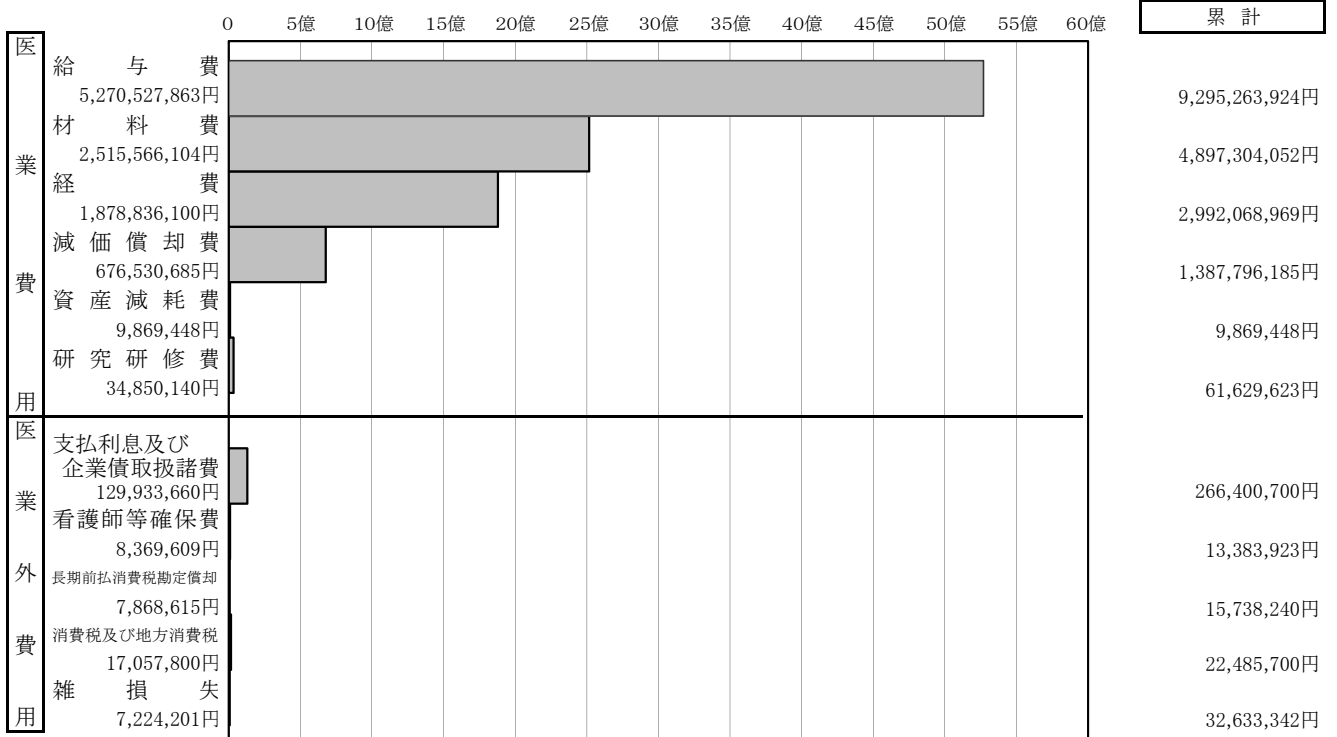
収 入 9,643,475,471円

18,835,157,711円



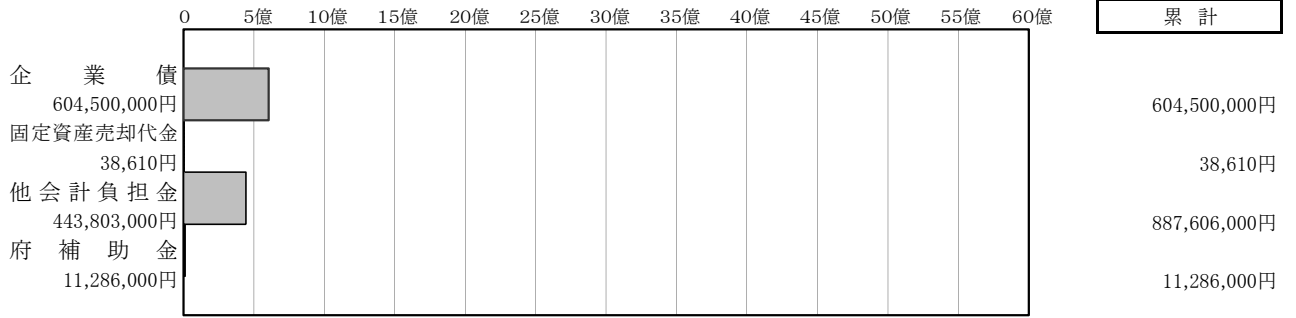
支 出 10,556,634,225円

18,994,574,106円

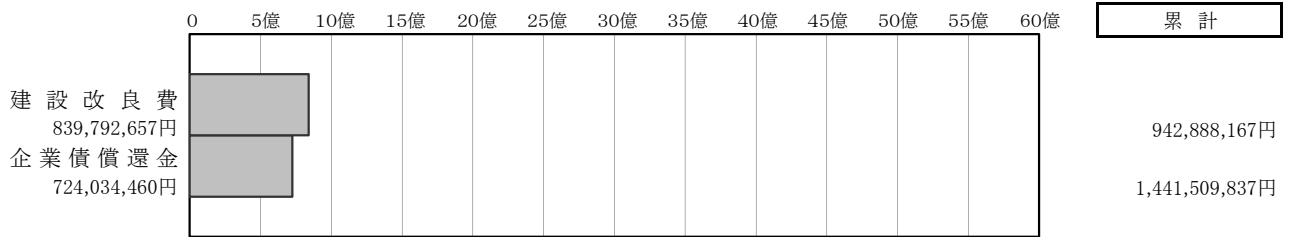


資本的収支

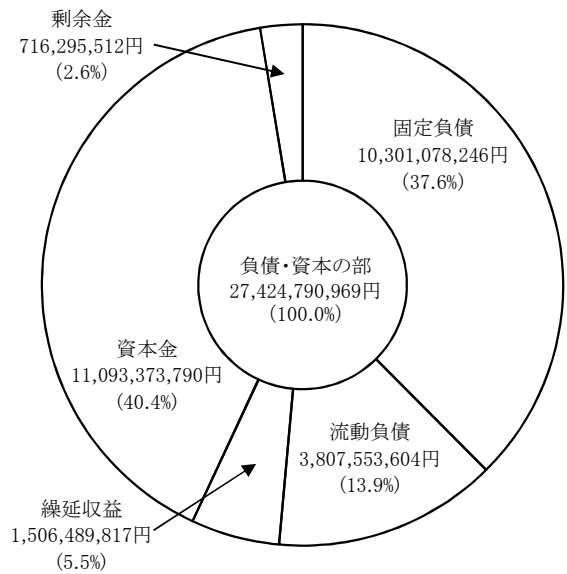
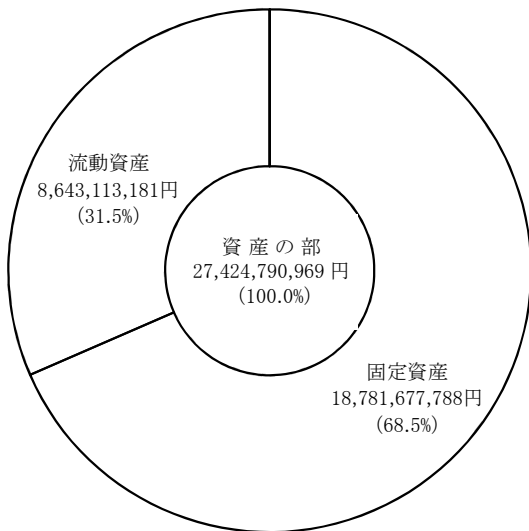
収入 1,059,627,610円 1,503,430,610円



支出 1,563,827,117円 2,384,398,004円



貸借対照表(消費税及び地方消費税抜き)
[平成30年(2018年)3月31日現在]

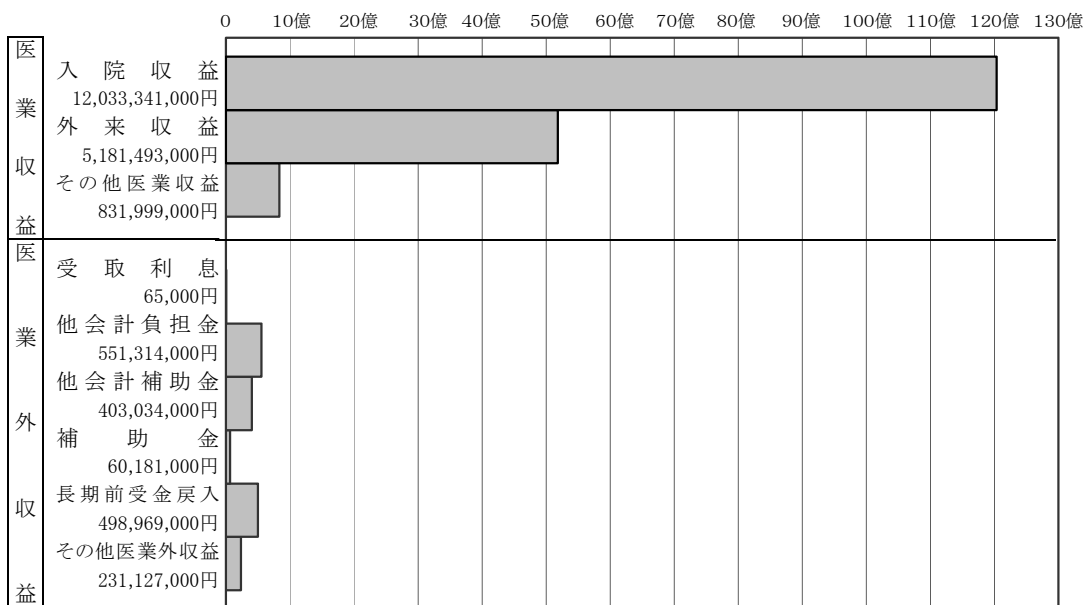


企業債現在高 10,792,472,500円
一時借入金現在高 0円

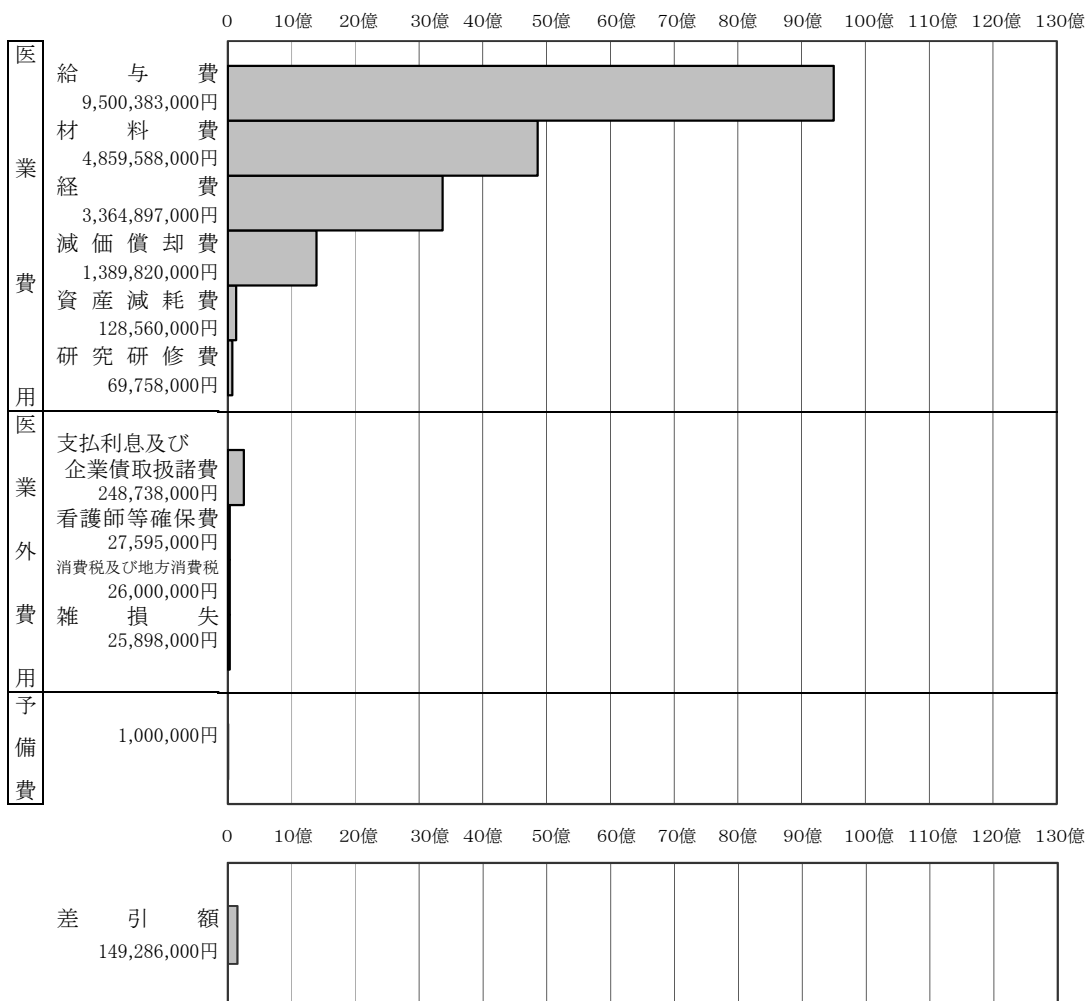
平成30年度(2018年度)予算の状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

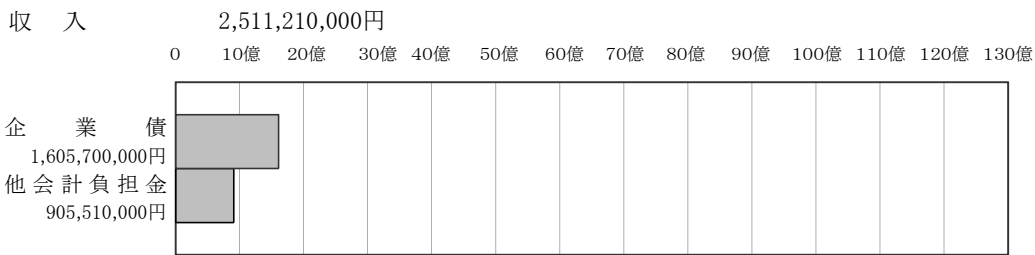
収入 19,791,523,000円



支出 19,642,237,000円



資本的収支



平成 30 年度経営方針

当院は、「地域と連携し、急性期中核病院として高度で良質な医療の提供」を基本目標に健全で安定的な病院運営を目指しています。

しかしながら、平成 28 年度決算においては、全職員の果敢な取組みにもかかわらず、約 4 億 3 千万円の純損失（赤字）となりました。平成 28 年度の診療報酬の改定により、7:1 入院基本料が厳格化される中、平均在院日数の短縮や入院単価の増大は図られたものの、新規患者数の確保が不十分であったことが減収の基本要因です。

平成 29 年度の 4 月～7 月期においては、新規入院患者が前年度を上回り回復傾向にあり、在院日数も昨年同様の 11.6 日、病床利用率も昨年度の 87.5% に対し 90% 台で推移していますが、現状のままでも、まだ赤字決算が予想されるため、更なる努力が必要です。

こうした状況の中、平成 30 年度においては、職員 1 人ひとりが当院の置かれている現状を改めて認識し、合理性や効率性を発揮するため、各部署・各診療科が連携し、従前にも増して収益の確保はもとより、経費の削減、業務の整理効率化等を念頭において病院事業を展開します。

《平成 30 年度の目標と重点取組み事項》

【目標】

平成 30 年度以降の収支において、赤字を出さない運営体制を確立します。

【取組み】

1. 新規入院患者の増加と単価 UP

医療の質の向上とその基盤となる経営の安定化を図るため、月平均約 1,300 人（昨年 1,255 人）の新規入院患者の確保とともに、入院単価 59,000 円（昨年 58,024 円）を目指します。特に患者拡大のため、「断らない救急医療」「地域医療との円滑な対応」「ベッドコントロール強化」に、病院組織が一丸となって取り組みます。

2. 発信力の強化

当院の強みや魅力である医療機能、チーム医療、医療スタッフ、機器整備等が十分に発信されていません。今年度後半に予定されている第 2 回オープンホスピタルや市民健康展への参加、新病院 20 周年記念誌発刊等を契機として、あらゆる広報、啓発、PR 媒体を積極的に活用し、当院のアピールを継続展開します。

3. 施設改修および医療機器の更新

施設や医療機器の老朽化に対応して、施設設備の改修や更新を計画的に進めていきます。なお、平成 30 年度においては、収益増加が見込み難い中、新たな高額医療機器の購入は必要最小限とし、機器の更新を中心に整備を図ります。